

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医療問題調査費(総)	事業開始年度	平成13年度	作成責任者		
担当部局	医政局	担当課室	総務課	総務課長 岩淵		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>【医療安全】 医療事故につながる人的・組織的・物的要因(ヒューマンエラー、処方箋誤認、インシデント報告マニュアルの不整備など)について問題の所在、改善の必要性を調査・議論し、医療事故を防止し国民の医療に対する信頼の維持回復を図ることにつなげる。</p> <p>【医療情報提供】 第五次医療法改正による医療広告の規制緩和、広告ガイドラインの変更、都道府県における医療機能情報提供制度の実施状況について事後チェックするとともに、医療のアウトカムの公表について臨床指標の集計・公表方法の妥当性等について検討することで、国民が医療機関を利用する際に十分な情報のもと最適な医療機関に受診することを可能にすることを目的とする。</p> <p>【終末期】 国民の関心が高まっている終末期の医療について、患者・国民が納得する終末期医療のあり方・制度化を進めるうえでの問題点や不明瞭な部分を明らかにする。</p>					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>【医療安全】 過去に行われた医療安全対策検討会議において医政局長あて提言された「処方箋の記載方法が不統一となっている現状についての意見」に基づき、医療安全の観点から、処方箋記載方法・記載項目の標準化を検討するための検討会議を開催する。</p> <p>【医療情報提供】 医療広告の規制緩和が必要な状況や新たな制度が生じた場合に、その是非を検討するほか、医療のアウトカムの公表の推進に向けて行うべき事項の整理を行う。</p> <p>【終末期】 終末期の医療の実際について関係団体や有識者の実践状況や考え方を情報共有し、また国民の認識についての調査結果を踏まえ、終末期の定義、患者側に対する説明方法、終末期に際するケア、法制化の必要性・あり方について検討する。</p>					
実施状況	<p>【医療安全】 内服薬処方せんの記載方法の在り方について検討する会議を5回開催し、平成22年1月29日に報告書の公表を行った。内服薬処方せんのあるべき姿とそれへの移行にかかる取組・対応を整理した。</p> <p>【医療情報提供】 広告の規制緩和等検討が必要な状況が生じなかったため、会議は未開催。医療アウトカムの公表について、22年度より実施する医療の質の評価・公表等推進事業の概要に関して委員に個別周知を行った。</p> <p>【終末期】 終末期医療のあり方に関する懇談会を2回開催、医療関係者の実践事例や関係団体におけるガイドラインの報告、終末期医療に関する調査・懇談会報告書の骨子案を作成した。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	24.0	21.3	17.2	18.0	18.1
	執行額	9.3	16.1	12.3		
	執行率	38.8%	75.5%	71.7%		
	総事業費(執行ベース)	9.3	16.1	12.3		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	年度当初に年間執行計画を作成し、適宜見直しを行い(月ごとの実績反映)、適切な執行・把握を行っている。執行においては全て厚生労働省本省で直接執行しており、全ての支出先を把握している。				
	見直しの余地	<p>余分な職員旅費等が発生しないよう、委員への事前レクのタイミング・方法などを効率的に(メール・電話、都内近傍での実施)行っている。また、議論の円滑な進行のため、事前に争論となる内容についての情報をレクするとともに、会議の結論・議論を踏まえて必要な情報を各委員へ後日インプットしている。</p> <p>なお、終末期医療のあり方に関する懇談会は22年度から政策医療課にて行うこととし、当該事業の対象からは除外したところである。</p> <p>予算額と執行額の乖離の理由を分析の上、予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。</p>				
予算監視の・効率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 予算と執行の乖離の要因等を精査し、会議開催開催回数を見直すこと等により予算の縮減を図る必要がある。					
補記						

厚生労働省
12.3百万円

A. 謝金
1.5百万円

C. 会議費
0.0百万円

B. 委員旅費
0.5百万円

D. 速記料
0.3百万円

うち事務費
10.0百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.謝金			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	出席委員71名に対する謝金	1.5			
計		1.5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0